

真宗大谷派名古屋教区内有志 **災害ボランティアネットワーク**

活動資金の募金のお願いと
ボランティア活動のご報告

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

本会の活動資金の募金にご協力いただいた皆様のおかげで、様々な活動を行うことができました。

ここに、最近の活動報告をお知らせさせていただくとともに、引き続き本会の活動にご支援・ご寄付をいただきますよう、宜しく願い申し上げます。

なお、募金は「一如さん(毎月12日)」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名称】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

7月の活動報告【黒田隊① 福島の子ども達の保養活動】

日 時 2012年7月21日～22日

場 所 岩手県西和賀町

活 動 内 容 福島県相馬市山上小学校の子どもたちに、外で駆け回る夏の思い出を作ってもらおう。

福島県相馬市、山上小学校の子ども達を招いてサマーキャンプが行われました。場所は岩手県内陸部にある西和賀町です。

岩手県北上市の納棺師、笹原留似子氏からラジオ福島様を介し、児童14名、保護者10名、校長先生の合計25名の方を招きました。

この児童たちは福島第一原発の事故以来、福島県外に出たことのない子どもたちでした。原発事故以来、放射能を全く気にする事もなく、昔のように外で駆け回ることが出来なかった子ども達。そんな子ども達に、子どもらしい思い出をいっぱい作ってあげたい、それがこのサマーキャンプの目的でした。



裏面につづく



サマーキャンプでは流しそうめんから始まり、虫取り合戦、ドッチビー、親子対抗リレー、水遊び、かき氷、バーベキュー、スイカ割り、花火、裏山の一本杉までの登山などを楽しみました。

どこにそんな体力があるのだろうか?と思うくらい、子ども達は疲れも知らず元気に野山を駆け回っていました。その中で、子どもたちだけでなく、お父さんお母さんたちも本当に素敵な笑顔をなされていたことがとても心に残りました。

「こんな機会を作ってくれて、本当にありがとうございました。」疲れも知らず走り回る子ども達を遠目に眺めながら、一人のお母さんが涙ぐみながら私におっしゃりました。地域の事情、家庭の事情、仕事の事情、様々な葛藤の中で、子どものために満身創痍、戦ってこられた母の姿がそこにありました。

最後に、山の一本杉で書いたメッセージをタイムカプセルに残しました。メッセージは未来の自分へ、あるいはこの夏の思い出、あるいは震災で亡くなってしまった家族へ、いろいろな思いを込めて書いてくれました。スタッフが心を込めて手作りしたタイムカプセルは本堂に保管されます。

いつでもここに帰っておいで。みんな待ってるよ。忘れてないからね。つながっているからね。そんな思いを込めて、また厳しくもいとおいしい故郷へ帰って行くバスを見送りました。

8月の活動報告【黒田隊② 福島の子どものための保養活動】

日 時 2012年8月7日

場 所 陸前高田市気仙町

活 動 内 容 陸前高田市気仙町けんか七夕のお手伝い

陸前高田の三大七夕の一つです。伝承によると900年前から続けられてきた祭りのお手伝いに行ってきました。山車の車輪の保護、潤滑のためのロウソクを提供して頂いた名古屋のお寺のみなさまに深く感謝いたします。ありがとうございました。

詳細は来月報告いたします。